

令和4年度 課題及び改善に向けた方策

【児童の評価が低かった具体的評価項目】	
学校での勉強は、よくわかる。 (平均値2.99)	「子供が主役」の授業に移行するに従い、児童自ら考え、追究する場面が増えてきています。知識を身に付けるだけでなく、どう使っていくかが問われているため、難しさを感じているものと思われます。しかし、この「わからない」ことを楽しいことと捉えられるように意識の転換も大切になってきます。今後も『子供が主役』であるだけでなく、「子供が楽しい」授業づくりを目指して参ります。
学校の話を書いた人とよくする。 (平均値3.40)	学校のことを親と共有し、喜びを分かち合い、悩みを相談することで子供は親への愛情を感じるものであると思いますので、引き続き学校と家庭の連携を深めて参りたいと思います。
【保護者の評価が低かった具体的項目】	
学校は、子供をよく理解し、わかりやすい授業に努めている。 (平均値3.26)	「子供を中心とした授業づくり」に対する理解が、児童・保護者・地域・教職員すべてで「3」の評価の割合が多かったです。 これから求められる学力、授業についての情報発信と、理解の深化を図って参ります。
【教職員の評価が低かった具体的項目】	
学校は、子供をよく理解し、わかりやすい授業に努めている。 (平均値3.09)	令和4年度は「子供を中心とした授業」を目指すもので、教職員が試行錯誤しながら授業づくりに励んできました。未だ定型がない授業スタイルであるため、評価が『3』にとどまったものと思われます。引き続き、わかりやすい授業への改善を図って参ります。
【学校運営協議会委員の評価が低かった具体的項目】	
学校は、命の大切さを基本とし、思いやりの心を育てようとしている。 (平均値3.25)	例年6月の「長崎っ子の命を見つめる教育週間」で道徳の授業を参観していただきましたが、本年度はこれができなかったことの表れであるものと思われます。 次年度は、道徳の授業参観をしっかりと計画に入れていきます。
【保護者の声から】	
○youtuberの件	youtuberの件に関しましては、たくさんのご意見をいただきました。 学校側といたしましても、本当に子供のためになるのかという「問い」の捉え方が甘かったと深く反省しております。 また、教育委員会との連携につきましても、これまで以上に連携を密にしながら、歩みを進めて参る所存です。今後とも、学校運営に関しまして、保護者の皆様方の声をお聞かせいただくと幸いに存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。
○給食時の黙食を廃止してほしい。	学校としましても、子供たちに楽しく給食を食べてほしいという願いがあります。しかしながら、以前コロナ感染が続いている状況にあります。申し訳ございませんが、児童の安全を第一優先に考えて、黙食を続けて参ります。御理解のほど、よろしくお願いいたします。
○プールの傷み具合が心配。早い建て替えを希望する。	教育委員会へ要望を出しております。
○学力試験を定期的に行い、伝達してほしい。	令和5年度は、各教科の単元末のテストに加え、1学期と2学期に「学力テスト」を実施予定です。その結果を、児童及び保護者へ伝達します。更には、学校での授業改善に活かして参ります。